

7. プロジェクトに関する具体的施策

部門	プロジェクト	事業	内容	●:主体 ○:支援・協力	市 民間 大学 市 課題	補助制度 関連するSDGsのゴール																																						
						国	県	他	太陽光	天然ガス	風力	小水力	バイオ	地中熱	雪氷熱	廃棄物	省エネ	その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
1 エネルギー研究・開発部門	(1) 省エネ・再エネ	①省エネルギー技術開発支援事業	①パワーエレクトロニクス産業の振興と集積		● ○ ○	・パワエレ技術の理解促進 ・支援策の検討																																						
		②地中熱利用促進事業(省エネ・節水)	①既存井戸を活用した地中熱ヒートポンプ導入	●		○																																						
		③都市ガス活用推進事業	①メタネーション技術を活用した都市ガス 研究事業 ②カーボンニュートラルガスの導入	● ●	● ●	○ ○	・実用化に向けた課題の整理 ・ガス供給事業者との連携 ・実証フィールドの調整・提供 ・エネルギーの地産地消に向けた市の スタンス (技術開発についての協力)	★			○																																	
		④EV車充電設備・太陽光発電設備等の 技術・設備開発支援事業	①EV車充電設備や太陽光発電設備等の 整備に関するメイド・イン・ながおかの 技術・設備開発支援	●	○ ○	○ ○	・EV車・太陽光関連産業に関する事業者の洗 い出し及び市場参入意向の確認	★ ★	○																																			
		⑤熱エネルギー導入・技術開発促進事業	①熱エネルギー創出産業の可能性調査 (地熱発電等) ②熱エネルギーの技術開発や関連設備 開発に取り組みようとする企業・研究 機関に対する支援	● ●	● ●	○ ○	・熱エネルギー賦存量の把握 ・熱エネルギー関連産業に参入可能な事業者 の洗い出し・参入意向の確認																																					

		●:主体 ○:支援・協力				関連するSDGsのゴール																																			
部門	プロジェクト	事業	内容	市 民	民間 大学	市	課題	補助制度		太陽光	天然ガス	風力	小水力	バイオ	地中熱	雪水熱	廃棄物	省エネ	その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
								国	県 他	貧 困	飢 餓	保 健	教 育	ジ ェ ン ダ ー	水 ・ 衛 生	エ ネ ル ギ ー	経 済 成 長 と 雇 用	イ ン フ ラ ス ト ラ ク チ ャ ー	不 平 等	持 続 可 能 な 都 市	持 続 可 能 な 消 費 と 生 産	気 候 変 動	海 洋 資 源	陸 上 資 源	平 和	実 施 手 段															
2 市民生活部門	(1) 住まい・移動	①住宅のZEH化促進事業 (新築、既存住宅更新・改修時)	①再エネ導入とあわせたZEHの促進 ②省エネ・断熱性能向上に向けた住宅 リフォーム支援事業の検討	●	○	○	①降雪地の長岡市に適した再生可能エネ ルギーの選定 ②基準が国から示されていない中での独自の 基準の検討が必要	★	★	○	○			○	○			○																							
		②地中熱利用促進事業(省エネ・節水)	①既存井戸を活用した地中熱ヒートポンプ 導入	●		○	・県内の施工事例や長岡市における技術導入 の検証	★						○												○															
		③省エネ・再エネ設備導入促進事業	①省エネ・再エネ設備の導入 ②第三者所有モデルの普及啓発により導入促進	●		○			★ 税制		○	○		○	○	○			○								○														
		④EV車等導入促進事業	①EV車等導入支援 ・再エネ設備と併せて導入した場合の補助金額 引き上げ ・公共性の高い車両への優先実施 ・カーシェアリングを想定した集合住宅や団地への 導入促進	●		○	・支援策の検討、再エネ電力調達 ・車両価格、走行可能距離(将来的にはEV車 等の導入が不可避) ・雪国の特性	★ 税制												○						○	○	○		○											
		⑤EV車等充電設備設置促進事業	①充電設備の導入 (ソーラーカーポート含む)	●		○	・支援策の検討、再エネ電力調達	★		○																○	○			○											
		⑥熱エネルギー導入促進事業	①雪を熱源とした温度管理システムの導入	●		○	・県内の施工事例や長岡市における技術導入 の検証				○			○	○	○	○										○														



部門	プロジェクト	事業	内容	●:主体 ○:支援・協力				課題	関連するSDGsのゴール																	
				市民	民間	大学	市		補助制度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4 農林水産部門	(1) 農業・水産業	①農山漁村再エネ導入促進事業	①営農型太陽光発電システム、省エネ型施設園芸設備、養蠶業設備等（ヒートポンプ、地中熱、貯雪冷熱）、CO <sub>2</sub> の回収・利用施設を導入する事業者支援 ②小水力発電導入支援事業	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		②農地土壌への炭素貯留促進事業	①土づくり（有機農業、たい肥の施用、カバークロープ等）、もみ殻・たい肥の活用 ②新たなバイオ資材の開発 ③コンポスト購入支援	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		③スマート農業導入促進事業	①ドローンを活用した効率的な農薬や水田管理を行う営農者支援	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		④農業機械の電化に向けた導入促進事業	①農林水産業機械等電化促進事業	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2) 林業	①木質バイオマス・バイオガス利用促進事業	①バイオマスを活用した発電導入検討 ②クラウドファンディング・ふるさと納税・市民協働による森林整備、森林整備による雇用創出、発電所の誘致	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		②Jクレジット制度の導入促進事業	①民有林管理制度の導入 ②Jクレジット制度の導入促進	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		③建築物への木材利用促進事業	①県産木材の利用促進・補助	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		④再造林促進事業	①成長がより優れた精英樹を活用した再造林の促進	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○







# 持続可能な開発目標 (SDGs)について

## SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



## SDGsの構造

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など未だに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

## 人間の安全保障との関連性

我が国は脆弱な立場にある一人一人に焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方とも一致するものです。

## SDGs達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGサミット」で、グテーレス国連事務総長は、「取組は進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からはほど遠く、今、取組を拡大・加速しなければならない。2030年までをSDGs達成に向けた「行動の10年」とする必要がある」とSDGsの進捗に危機感を表明しました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大したことからも明らかのように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。

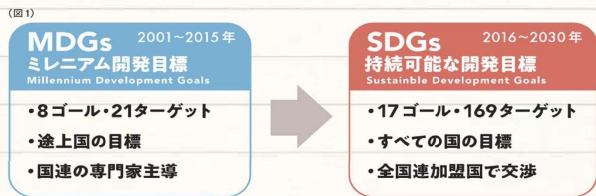
SDGs達成に向けた道のりは決して明るいものではありません。だからこそ、「行動の10年」に突入した今、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。

## SDGsの特徴

前身のMDGs(Millennium Development Goals: ミレニアム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。(図1)

しかしながら、これらの目標は、各国政府による取組だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。

まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。



## 持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>目標1【貧困】</b> あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	<b>2</b> 飢餓をゼロに	<b>目標2【飢餓】</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>目標3【保健】</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>目標4【教育】</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
<b>5</b> ジェンダー平等を實現しよう	<b>目標5【ジェンダー】</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に	<b>目標6【水・衛生】</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<b>目標7【エネルギー】</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>目標8【経済成長と雇用】</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう	<b>目標9【インフラ、産業化、イノベーション】</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>目標10【不平等】</b> 国内及び各国間での不平等を是正する
<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを	<b>目標11【持続可能な都市】</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<b>12</b> つくる責任 つかう責任	<b>目標12【持続可能な消費と生産】</b> 持続可能な消費生産形態を確保する
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>目標13【気候変動】</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう	<b>目標14【海洋資源】</b> 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう	<b>目標15【陸上資源】</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に	<b>目標16【平和】</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
<b>17</b> パートナシップで目標を達成しよう	<b>目標17【実施手段】</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる		

(出典：外務省公式WEBサイト)